

『日々の足跡』

三春町立三春中学校

【蔵書数12,408冊、充足率102%】

図書スペースは生徒用11,955冊、教師用453冊、充足率102%となっています。

町の常勤の司書の先生を配置いただき、生徒会図書委員会やその担当の先生、各教科の先生方と連携を図りながら、図書スペースが子どもたちの文字環境、言語環境、調べ学習や主体的な学習の場として活用されることをめざします。疲れたときに顔を上げると、安達太良山を望むことができます。



【インフルエンザ感染拡大防止！～『連携・コミュニケーション』～】

『連携・コミュニケーション』の意識と態度をもって全校体制で感染拡大防止に取り組んでいます。養護教諭と協力して連絡・放送、各学級ではマスク着用が担任から、保健委員による健康観察・報告、栄養教諭はお昼の放送内容を変更しインフルエンザにまけないバランスのよい食事について放送、もちろん授業は全員マスク着用です。校内の『連携・コミュニケーション』の体制を他の活動にも応用し、子どもたちのために取り組んでまいります。先日ご協力いただいた町学校評価システム【設問17】『先生方はお互いに協力し合っている』への肯定的回答は89.0%でした。

【設問17】先生方はお互いに協力し合っている。



【ペットボトルキャップが54kg(約23,220個)集まりました！】

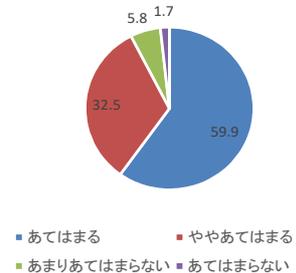
1・2年生JRC委員。ペットボトルキャップをたくさん集め、リサイクル業者さんが買い取っていただいたお金をワクチン購入費として寄付するという仕組み。キャップは2kg860個でポリオワクチン1人分が購入できます。この日のキャップ総重量54kg、約23,220個、27人分が購入できます。ワクチンは、発展途上国へ送られ命を守るために役立てられます。一方、キャップ430個をごみとして焼却すると3,150gのCO₂が発生するため、キャップの再資源化はCO₂の削減にもつながる地球にも優しい活動だそうです。



【何よりうれしい結果ですが！～一人ひとりの子どもたちのために全力で取り組みます。～】

先日ご協力いただいた町学校評価システム学校評価アンケートで、【生徒設問1】『学校に行くのが楽しい』に92.4%が肯定的評価、7.6%が否定的評価でした。一方、【保護者設問1】『子どもは楽しく学校に行っている』に91.6%が肯定的評価、8.4%が否定的評価でした。結果を真摯に受け止め、これまでを丁寧に振り返り、いただいた評価やご意見等を参考に、すべての子どもたちが『学校は楽しい』と回答できるよう取り組んでまいります。

【質問1】学校へ行くのが楽しい。



【設問1】子どもは、楽しく学校に行っている。

